

令和2年6月吉日

新型コロナウイルス感染症の影響下における県士会活動

会長メッセージ

一般社団法人宮城県作業療法士会

会長 大黒一司

薄暑の頃、新型コロナウイルス感染症の影響による未曾有の災禍の中、会員の皆さまにおかれましてはそれぞれの活動の場において、日々のご苦勞はいかほどかと拝察致します。

宮城県作業療法士会は、全国的に感染の拡がりが見え出した2月下旬から活動を自粛してまいりました。県士会主催の研修会（1回開催分）、厚生労働省指定臨床実習指導者講習会（3回開催分）を中止いたしました。また、理事会（3月と5月に開催）や監事による2019年度監査（4月実施）をオンライン会議等により、できる範囲で必要な活動を行ってまいりました。

昨年度の活動報告と今年度の活動計画については、3月までに概ねまとまり、その後は関係部局・委員会において詳細な部分の調整と修正を行いました。例年のように調整が進まず、総会開催の延期を5月8日の理事会で決定し、会員の皆さまにホームページより案内させていただきました。総会の開催が大幅に遅れましたことについては、お詫び申し上げます。

現在、コロナ禍において県士会活動の制限、自粛を余儀なくされる状況ですが、会員の皆さまのご協力と知恵を集結し、一致団結してこの難局を乗り越えられることを切に願っております。

今年度の県士会活動において、皆さまに重要な報告をさせていただきます。昨年度の理事会において、今年度の活動計画を策定するにあたり、「活動内容と県士会組織の見直し」を理事会において議論し、県士会活動を効率的かつ各部局が横断的に関わることを促進できるよう、県士会組織を再編し新たな組織として「部局連携室」を設置しました。これまでの企画管理局地域支援部、特設委員会の特別支援教育推進委員会は事業内容として研修事業と社会活動・地域貢献に関わる活動が主たる事業でした。「部局連携室」は研修事業を教育部、社会活動・地域貢献事業を事業部に集約し、これまでそれぞれの部や委員会が縦割りに実施されていた活動を横断的に調整する役割を担います。「部局連携室」は事業企画、人材の調整を行いながら各部局の活動を支援する役割も期待できます。今年度は、具体的な事業活動を通して新たな組織を運用できるよう会員の皆さまのご理解とご協力を得ながら県士会活動を進める所存です。

上四半期（4月～6月）は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業計画がほとんど実施されておられません。総会議案書の事業計画は、感染拡大前に理事会として承認いたしました。しかし、総会後は感染拡大の影響から事業内容、予算案を大幅に見直すこととなります。できるだけ早期に事業計画の修正及び補正予算に取り組み、会員の皆さまのご協力と知恵の結集により下半期の活動に反映できるよう努める所存です。

最後になりますが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と皆さまのご健康、そして県士会活動の進展、更には平穏な日々が戻りますよう祈念いたします。